

目 次

		ページ
SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	重力波天文学	藤 本 真 克 8
EUREKA 〈研究紹介〉	南銀極領域のKバンド銀河計数	峰 崎 岳 夫 14
天球儀 〈読物〉	ナスカの地上絵とマリア・ライハ 2	海 部 宣 男 22
書評	ハッブル望遠鏡が見た宇宙	29
シリーズ	《サイエンスだってやっています！ 公開天文台(1)》 和歌山県美里町・みさと天文台	尾久土正己 30
雑報	天文教育フォーラム報告 「21世紀の公共天文台」	32
	ADASS '97 報告	34
	早川基金による渡航報告書	36
月報だより		37

表紙説明

国立天文台三鷹キャンパス内に、基線長 300 m のレーザー干渉計型重力波検出器「TAMA300」が建設中である。既に施設と真空容器は完成しており、光学系も一部が組み上がっている。今後は高出力レーザーの設置、300 m 光共振器の試験、マイケルソン干渉計実験と進み、平成 10 年 8 月に運転開始の予定である。

(SKYLIGHT 参照)

Design Concept ●表紙イラストレーション：藤居保子

人類が持てる力で地球の外海へと出向いて行きし時代である。いつか銀河中心にそれを送り出す時、出合う現象の驚異とその解明の、苦難の航海を想わずにはられない。

表紙画面は、我々がいつの日か知るであろうその正体からいかなるメッセージを聞くのか、恐れと期待の交ざり合うイメージ・コンポジションとでも言えるだろうか。